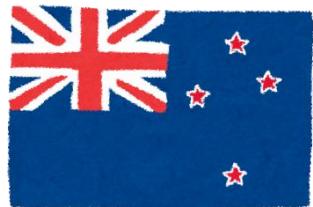


川北町中学生国際交流の翼

交流事業報告書



2025



「川北町中学生国際交流の翼」実行委員会

目次

- ◆ ニュージーランド・パーマストンノース青少年交流事業の概要 2

【受入事業について】

- ◆ 交流の様子（受入） 3～5
- ◆ ホストファミリーの感想 6
- ◆ 受入日程 7
- ◆ 受入団員名簿 8

【派遣事業について】

- ◆ 交流の様子（派遣） 9～17
- ◆ 交流の思い出 18～25
- ◆ 思い出の写真 26、27
- ◆ 団員からのメッセージ 28
- ◆ 派遣日程 29
- ◆ 派遣団員名簿 30

ニュージーランド・パーマストンノース 青少年交流事業の概要

事業の目的

川北中学校の生徒とニュージーランドの青少年が互いに訪問・交流を通じて、両国の相互理解と友好を促進するとともに、川北町内青少年の国際的視野を広げ、国際協力の精神を養うことで、次代を担うにふさわしい青少年リーダーを育成する。

ニュージーランド・パーマストンノースの概要

パーマストンノース（Palmerston North）は、ニュージーランド北島にある都市で、首都ウェリントンから約 140km 北に位置する。人口は 8 万 7,090 人（2023 年）で、マナワツ・ワンガヌイ地方の中心都市であり、ニュージーランドで 11 番目に大きい面積と 8 番目の人口をもつ市である。Massey 大学や IPU New Zealand などの高等教育機関が立地し、多くの学生が暮らす学園都市としても知られている。

アワタプ・カレッジ（Awatapu College）の概要

Awatapu College は、1976 年に創立された男女共学の公立高校で、生徒数約 680 人の中規模校である。ニュージーランドの高校にあたる Year 9~13（13~18 歳）の生徒が在籍しており、全校生徒の 6~7% が留学生という国際色豊かな学校である。写真やデザインなどのクリエイティブ分野から、エンジニアリングや数学などの理系科目まで幅広い選択科目を提供し、留学生への英語学習や生活面のサポート体制も整えている。

今年度の事業概要

【ニュージーランド Awatapu College 生徒訪問団受入】

受入期間：令和 7 年 4 月 19 日（土）～4 月 21 日（月）

受入相手校：Awatapu College

受入人数：22 名（生徒 19 名、管理員 3 名）

プログラム：ホームステイ・川北中学校生徒と交流

【川北町中学生ニュージーランド派遣】

派遣期間：令和 7 年 8 月 6 日（水）～8 月 14 日（木）

派遣先：パーマストンノース（ニュージーランド）

派遣人数：13 名（生徒 10 名、管理員 3 名）

プログラム：ホームステイ・Awatapu College 生徒と交流・国際大学 IPU New Zealand 訪問・

パーマストンノース市長訪問・オークランド視察

交流の様子（受入）

対面式



餅つき体験



書道体験



花火



書道体験



お寿司屋さん



金沢城



黒ひげ危機一発



交流の様子（受入）

型染め体験



トランポリン体験



昆虫館



夕食



お寿司屋さん



金箔貼り体験



夕食



仲良し



白山比咩神社



石浦神社



ホストファミリーと集合写真



ホストファミリーとお別れ



交流の様子（受入）

町長表敬訪問



記念写真



ウェルカムボード



川中生がお出迎え



自己紹介



授業と一緒に参加



全校生徒と交流会



バディと記念撮影



バディとお別れ



ホストファミリーの感想

※掲載にあたり、原文から一部抜粋・要約しています。

- ▶ 全体的におとなしくシャイな子が多く、感情をあまり表に出さない様子でしたが、その中でも少しづつ打ち解けていく姿を見る事ができました。
- ▶ はじめは緊張や長旅の疲れからか元気がなく心配しましたが、2日目には日本の好きなアニメの話をしたり、ニュージーランドのマオリ語を教えてくれたりと、打ち解けてからは楽しい時間を過ごす事ができました。
- ▶ とても良いホームステイ生で、三日間一緒に過ごせて楽しかったです。互いに片言の英語と日本語でしたが、翻訳アプリを活用しながら交流する事ができました。
- ▶ 用意した食事を喜んで食べてくれ、さまざまな体験も楽しんでくれたように思います。
- ▶ スマートフォンの翻訳アプリやゲームが会話のきっかけになりました。特に孫と一緒にポケモンゲームで盛り上がり、「今の子どもたちの遊びは世界共通なのだ」と実感しました。
- ▶ 言葉の壁はありましたけど、同じ時間を共に過ごし、異文化交流ができたことを嬉しく思います。子どもたちが一生懸命英語でコミュニケーションを取ろうとする姿は微笑ましく、家族にとって貴重な経験となりました。
- ▶ 英語でのやり取りに苦戦し、「受け入れ側としてもっと英語スキルが必要だ」と感じたが、それも含めて家族にとって大きな学びになりました。
- ▶ 若い家族や他のホストファミリーの皆さんに助けられながら交流を進めることができ、家庭同士のつながりが広がったことも楽しかった。
- ▶ 日本とニュージーランドの文化や風習の違いを知るきっかけとなり、日本のこと熱心に学ぼうとする姿勢にとても感心しました。
- ▶ 14歳のホームステイ生の受入は、食事やコミュニケーションに気を遣い、正直疲れもありましたが、それ以上に「外国の方と生活を共にした非日常の3日間」は良い思い出になりました。

受入れに際し、地域のホストファミリー13家庭の温かいご支援を賜りました。
厚く御礼申し上げます。

受入日程

日時：4月19日(土)～4月21日(月) 2泊3日

人数：生徒19人（女11人、男8人）、引率者3名（女2、男1）

月日	時間	内容	場所
4月19日(土)	13：27	Awatapu College生徒到着	小松駅
	14：10	川北町へ到着	文化センター
	14：20	ホストファミリー集合	視聴覚室
	14：30	対面式	
		ホームステイ	各家庭
4月20日(日)	終日	ホームステイ	各家庭
4月21日(月)	8：45	Awatapu College生徒集合	文化センター
	9：30	町長表敬訪問	役場大会議室
	10：15	中学校交流 午前：バディを組んで授業を体験 午後：全校生徒と交流	川北中学校
	15：30	Awatapu College生徒出発	文化センター
	16：30	空港到着	小松空港
	18：30	フライト	

受入団員名簿

Awatapu College 訪問団

管理指導員

	氏名	性別	区分
1	Brendon Maurice Chapple	男	団長 Awatapu College教員
2	Megumi Hartley	女	Awatapu College教員
3	Alisa Megumi Chapple	女	サポート

訪問生徒

	氏名	性別	年齢
1	Amelia Simpson	女	14
2	Alex McNaught	女	15
3	Sophia Smith	女	15
4	Rangi Maihi	女	16
5	Ari Popata	女	16
6	Jaszariah Snelgar	女	15
7	Alyssa Fish	女	16
8	Sophia Stewart	女	16
9	Addison Prisk	女	15
10	Luca Pinder	男	14

	氏名	性別	年齢
11	Ame Velich	女	17
12	Henry Symonds	男	15
13	Jacob Compton	男	17
14	Logan Strawbridge	男	17
15	Alex Forbes	男	16
16	Luke Wood	男	17
17	Aniruth Natarajan	男	17
18	Oliver Prisk	男	16
19	Tristan Mackley	男	16

交流の様子（派遣）／事前研修・激励会

事前研修

日時：7月24日（木）9：00～

場所：川北町文化センター

次第：団員証交付式

団員研修

出し物について決定・練習

ニュージーランドについて

英会話練習

オリエンテーション



ホストファミリーへの手紙を英語で作成



激励式

日時：8月4日（月）15：00～

場所：川北町役場

次第：町長あいさつ

生徒代表あいさつ

3年 谷 瑞己

団員証交付



研修スタート



ALTによる英語レッスン



出し物について話し合い



記念撮影



激励式 生徒代表あいさつ



1日目 8月6日(水)

- 09:05 ~ 結団式
- 09:10 ~ 役場発→小松空港へ
- 09:40 ~ 手荷物検査など
- 11:00 ~ 搭乗→羽田空港へ
- 12:15 ~ 羽田空港で待機
- 14:25 ~ リムジンバス→成田空港へ
- 15:45 ~ 成田空港で待機
- 20:00 ~ 成田空港→オークランドへ

結団式



生徒代表決意表明



結団式

場所：川北町役場

次第：団長あいさつ

決意表明

2年 西田 葵

バスに乗車



ニュージーランド航空



成田空港で搭乗待ち



小松空港へ



機内食 1



リムジンバス待ち



機窓からの景色 1



2日目 8月7日(木)

09:25 ~ オークランド空港

12:15 ~ オークランド→パーマストンノースへ

13:20 ~ パーマストンノース空港→IPUへ

14:10 ~ IPUで昼食

15:15 ~ IPU→Awatapu Collegeへ

15:30 ~ ホストファミリーと各家庭へ

飛行機乗り継ぎ中



機窓からの景色 2



パーマストンノース到着



IPU 食堂に到着



ホストファミリーと合流



ホームステイ初日



3日目 8月8日(金)

08:50 ~ 交流会

10:15 ~ バディと授業へ参加

14:20 ~ 下校

学校交流

場所 : Awatapu College

次第 : 歓迎のことば

団長あいさつ

川北中学校生徒代表あいさつ

3年 谷 瑞己

Awatapu College 生徒代表あいさつ

川北中学校生徒出し物披露

複数の意味がある日本語について

筆ペンで習字体験

体験授業

クイズ形式で日本語を紹介



習字を紹介



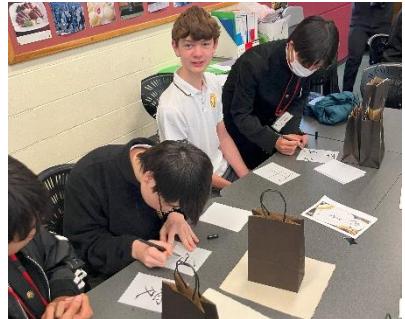
生徒代表あいさつ



最中を試食



筆ペンで習字体験



筆ペンで習字体験



バディと一緒に授業を体験



美術の授業に参加



バディと記念撮影

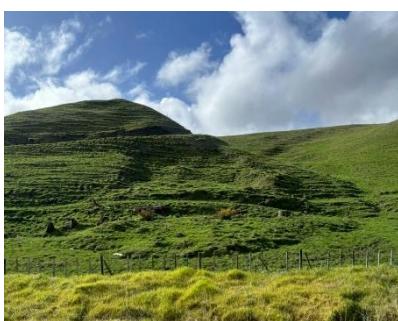


ホームステイ 2日目



4日目 8月9日(土)

終日～ホームステイプログラム



5日目 8月10日(日)

- 15:30 ~ ホストファミリーお別れ会
17:00 ~ IPU 院生と交流
17:30 ~ 学生寮に宿泊

ホストファミリーとのお別れ会

場所：IPU ニュージーランド

次第：記念撮影

団長あいさつ

川北中学校生徒代表あいさつ

3年 小川 叶真

生徒とホストファミリーの交流報告

懇談

IPU 院生との交流

お別れ会 記念撮影



プロラグビー選手と記念撮影



ホームステイ最終日



生徒代表あいさつ



ホストファミリーとお別れ



IPU 大学院生と交流



6日目 8月11日(月)

09:30 ~ IPU→市庁舎へ

10:00 ~ パーマストンノース市町訪問

11:30 ~ IPUで昼食

12:30 ~ IPUキャンパスツアー

13:45 ~ 市内ツアーハウス

17:10 ~ 学生寮に宿泊

パーマストンノース市長訪問

場所: パーマストンノース市庁舎

次第: 歓迎のあいさつ

(代理: マーク・アーノット市会議員)

賞状授与

川北中学校生徒代表あいさつ

3年 高木 政宗

記念撮影

賞状授与



生徒代表あいさつ



議場で記念撮影



IPUで昼食



妻倉さんからのお話



生徒代表あいさつ



キャンパスツアー



市内ツアーハウス 買い物



キャンパスツアー

場所: IPUニュージーランド

次第: 歓迎のあいさつ

川北中学校生徒代表あいさつ

3年 村上 穂空

キャンパスツアー

市内ツアーハウス 風車見学



7日目 8月12日(火)

07:30 ~ IPU→パーマストンノース空港へ

07:50 ~ 搭乗手続き

08:30 ~ パーマストンノース→オークランドへ

09:50 ~ 空港→博物館へ

10:50 ~ オークランド博物館

12:15 ~ 昼食

13:15 ~ スカイタワー

14:45 ~ 買い物

17:00 ~ ホテルチェックイン

18:00 ~ 夕食



オークランド博物館



スカイタワー



オークランドへ出発



オークランド博物館見学



昼食



スカイタワー見学



お土産ショップへ



8日目 8月13日(水) / 9日目 8月14日(木)

8月13日(水)

- 06:30 ~ ホテル→オークランド空港へ
- 07:15 ~ 搭乗手続き
- 10:15 ~ オークランド→日本へ
- 18:00 ~ 成田空港 入国審査
- 19:35 ~ 成田空港→羽田空港へ (バス)
- 20:40 ~ 羽田空港内ホテルへ
- 21:15 ~ ホテルチェックイン

手荷物預け待ち



さよなら NZ



国際線搭乗口へ



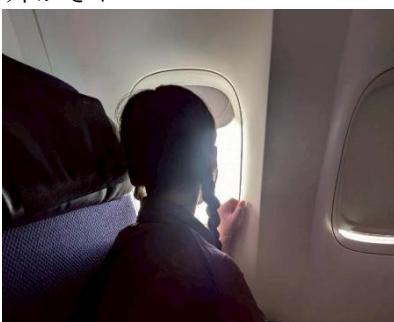
機内食 2



日本へ出発



外がきれい



機窓からの景色 3



機内で記念撮影



機内食 3



オークランド空港



8月14日(木)

- 07:30 ~ 搭乗手続き
- 08:55 ~ 羽田空港→小松空港へ
- 10:05 ~ 小松空港→役場へ (バス)
- 10:40 ~ 解団式

解団式

場所：川北町役場

次第：団長あいさつ

生徒代表あいさつ

3年 黒田 華羽

羽田空港から小松空港へ



解団式 生徒代表あいさつ



交流の思い出

自分の成長と感じた人の温かさ

川北中学校3年 小川 叶真

僕はこの、ニュージーランドへの国際交流の翼で、コミュニケーション能力を向上させ、国の文化の違いや、人々の温かさに気づくことができました。

1日目では、飛行機の手続きなど、初めて自分で多くのことが多くて、挑戦することの多い日になりました。2日目にニュージーランドについて、自分のホストファミリーと会いました。僕は、英語で積極的にコミュニケーションをとることを目標にしていましたが、最初は自ら話しかけることはできず、ホストファミリーの方々から話しかけてくれました。でも、そこからリラックスすることができて、お互いのことを質問し合って、仲が深まっていきました。3日目では、現地の学校に、ホストファミリーと一緒に登校しました。学校で現地の学生とバディを組み、授業を受けたり、ご飯を食べたりしました。日本の学校との違いがたくさんあって、とても貴重な体験になりました。4日目はホストファミリーの方々と1日中、ウェリントンという都市に出かけました。そこには、ニュージーランドに関する大きな博物館があり、知らないことや、知っていることをより深く知ることができます。その後、その博物館の中のカフェで一緒にご飯を食べました。夜に帰ってきたのでみんな疲れていたけど、ホストファミリーのお父さんとチェスをしました。ルールも英語で教えてもらったので、とても難しかったです。5日目はホストファミリーとお別れする日でした。ホストファミリーの方々と、飲み物を飲ん

だり、小さなお菓子を食べたり、最後にたくさん話しました。別れ際はとても寂しく、本当の家族のように受け入れてくれた人たちと別れたくないと思っていました。6日目は、市長を訪問したり、学校を見学したりしました。これもまた日本との違いが感じられ、興味深い場所がたくさんありました。7日目は、オーカーランドに行きました。博物館やスカイタワーに行って、ニュージーランドの景色や文化を感じました。昼ご飯のときに食べた日本食は、忘れられません。8日目に日本に帰ってきて、ニュージーランドは冬だったのでとても暑く感じました。でも、とても安心できました。

この9日間は僕の人生の中で1番と言っても良いぐらい貴重な体験になりました。自分の成長や課題がたくさん見つかりました。また行きたいと思いました。

国際交流で広がったこと

川北中学校3年 清水 穏

夏休みに、学校でニュージーランドの交流会がありました。交流会が始まる前は、英語で話すのは難しいとか、うまく会話ができるのかなと不安な気持ちでいっぱいでした。でも実際にニュージーランドの生徒の人たちと会ってみると、とても明るく親しみやすい雰囲気だったので、緊張していたけど緊張がとけてすごく楽しめたし、たくさんの知らないことを知ることが出来ました。私が言葉に詰まっても相手が笑顔で待っていてくれたり、単語でわかりやすく教えてくれたりしてくれたので安心して話すことができました。うまく文法が使えなくても、気持ちを込めて伝えれば相手にわかってもらえると知って、とっても嬉しかったです。

とくに楽しかったのはホームステイで過ごした時間です。ホストファミリーはとっても親切で初めて会った私たちを温かく迎えてくれました。一緒に食事をしたり、学校のことを話したりする中で、普段の生活ではできない貴重な体験ができました。日本とは違う文化や習慣を実際に体験しながら学ぶことができ、旅行で来た時には得られない、とっても深く、楽しい交流になったと思います。夜に一緒に映画を見た時はみたい映画を見せてくれたし、ホストファミリーも一緒に笑ってみてくれていい思い出になりました。ホームステイを通して言葉だけでなく気持ちでつながることの大切さがわかりました。

交流会では自己紹介やスライドで日本のことと紹介しました。日本とニュージーランドの学校生活の違いは全然違って、勉強の仕方や部活動などがとくに違うなど見て感じました。またニュージーランドの生徒た

ちは自分の意見をしっかりと言っていてすごいなと思いました。私たちが日本の行事や食べ物を紹介すると、とても興味を持ってくれて、一緒に笑い合いあえたことが楽しかったです。日本の文化が外国人の人にも喜ばれていることを知って嬉しくなりました。

今回の交流やホームステイを通して、英語をもっと学びたいという気持ちが強くなりました。英語はテストや授業のためだけではなく、人とつながるために使うものだと実感しました。これからは授業でも積極的に発言し、少しでも自分の思いを英語で伝えられるようになりたいです。そして、もし将来海外に行く機会があれば、今回の経験を生かして勇気を持って挑戦してみたいと思います。

交流会やホームステイは短い時間だったけど、とても貴重で思い出に残る経験になりました。話す言葉が違っても自信をもって話すことがとても大切だと深く感じました！

初めての海外

川北中学校 3 年 黒田 華羽

ニュージーランドでの留学を通して、コミュニケーションの大切さを学ぶことができました。英語がうまく話せなくて不安なときもあったけど、ジェスチャーや知っている単語を組み合わせるだけでも気持ちは伝わることが分かりました。うまく話すことよりも「伝えようとしてすること」が大事だと改めて気づくことができたと思います。

ホームステイでは、ショッピングモールや博物館、動物園などパーマストンノースの 8 箇所ほど連れて行ってもらう事ができました。買い物をする時には、初めて使う海外のお金が全然分からなくて戸惑っていましたが、ホストマザーが親切に教えてくださったり、店員さんもこのお金を出せばいいよと見せてくれたりしてニュージーランドの方の良さが身に染みて感じました。博物館ではニュージーランドの先住民マオリについての詳しいことを学ぶことができたり、化学のコーナーでの展示を体験することができたりしてホストマザーと一緒に楽しむことができました。またホストマザーの家では、私の趣味のアニメを見るということがたまたま同じだったのでふたりで日本のアニメ鑑賞をしたり、アニメの話をしたりしてすごく盛り上がることができました。ホームステイの中でも 1 番思い出に残っています。

初めて会う方と 3 泊 4 日という長い期間一緒にいることに最初は緊張していましたが、ホストマザーがとても良い方だったので最高のホームステイ生活を送ることができました。

国際交流を通して

川北中学校 3 年 高木 政宗

国際交流の翼は自分にとって、すごくいい経験になったと思います。

まず、ニュージーランドと日本の文化や食べ物の違いについて知れたことです。例えば、日本では、お昼ご飯は 1 回ですが、ニュージーランドでは、11 時頃にモーニングティーというものがあります。モーニングティーとは少し長い休憩の事で、この最中には、ゲームをしている人もいれば、ご飯食べている人もいます。その他に、ニュージーランドでは、信号機が日本と比べてとても少なく、大通りにしかなく、小さい道では、住民どうしで譲り合っていました。

次に、英語の上達に繋がったと思います。英語は中学校で習っていますが、授業とは、全く違い、知っている単語だけで、文が作られている訳ではなく、知らない単語が沢山ある、しかも話すスピードは凄く早くてついていけません。授業を体験しましたが、単語を理解するだけでいっぱいいっぱいでした。授業が終わると、ホームステイ先では会話が楽になりましたが、授業はすごく難しいです。

また、海外の人達は自分の意見や考えをすごく求めます。ホームステイでは、「これいる?」などと、授業では「あなたはこれに関してどう思う?」などと、意見を求められる場が多いので自分の意見を持つ事、それを積極的に伝えることが大切だと思いました。

そして、海外に行くことで、自分の視野が少し広がったと思います。ホームステイを通して、違う家族の生活を知る、ニュージーランドの授業を通して、日本の授業との違いを知る、海外に行くことで、日本の良

さを知る。色々な場面でニュージーランドの文化を知り、その文化を体験出来た、凄くいい機会でした。

そして、この経験を活かし、学校生活、生徒会に頑張り、違う視点を持って行動したいと思います。

新たな世界で、感じたこと

川北中学校3年 谷 琉己

私はこの夏、ニュージーランドでの国際交流の旅に参加しました。はじめての海外生活に緊張していましたが、多くの体験を通して、自分自身の成長を実感しました。出発前は、言葉や生活習慣の違いから不安や緊張でいっぱいでした。特にホームステイ先では、ちゃんとした英語は使っているか心配していました。実際に生活を始めると、英語という言語を通して少しづつ心の距離が縮まり、決して完璧な英語ではないけれど、ホームステイの人たちが、自分の言いたいことを察してくれ、会話がうまくいったときでも、反応に困ったときでも、笑顔で対応してくれ、そこから、たくさん話すことができ、ホームステイの家族と良い思い出を作ることができました。このことから、挑戦してみることの大切さを学ぶことができました。

また、現地の学校を見学し、同世代の生徒がのびのびと意見を述べる姿や、みんな仲良く喋っていて、ぼくたちにも気軽に話してくれ、とてもフレンドリーな姿に刺激を受けました。校舎が大きく、自由に食べられるリンゴが置いてあり、日本と違う学校に驚きました。

こうした生活の中で、たくさんの文化や習慣を学びました。例えば、スーパーマーケットゲートは一方通行しかできないように複数のバーが取り付けられています。

たり、石川では味わえない民族文化を味わえる博物館やマオリの像が設置されていました。また、気候は寒いが空気がからつとしていました。

さらにニュージーランドの自然や食文化に触れたことも忘れられません。人生初めて食べたラム肉は意外と肉質が柔らかく、くせのない物でした。また、ニュージーランドの独特の香辛料や、野菜に一度は戸惑ったが、案外自分の好みでクセになる味でした。特に驚いたのは、ヤムイモです。みなさん、ヤムイモを知っていますか？初めて見た時、赤い毛虫のような見た目で失礼だけど、おいしそうに見えませんでした。食べてみると、蒸すと、ホクホクでまあまあおいしかったです。

この留学は、私にとって悔いのない貴重な経験となりました。英語を使う楽しさや異文化を理解する喜びを知ったことで、自分の進路や将来の可能性をより大きく広げたいという思いが強まりました。これからは英語学習への執着心をさらに高め、この経験を自分の成長につなげていきたいです。

ニュージーランドでの研修を通して

学んだこと

川北中学校3年 平山 ゆず

国際交流の活動を通して、たくさんの学びやいい経験をすることで自信が持てるようになりました。

最初のホームステイはとても不安で英語を聞き取るのが難しく大変でした。でも、私のホストファミリーは優しくゆっくりしゃべってくれたり、質問してくれたりなどしてくれてとても安心したし嬉しかったです。また、諦めずいろんな表現で伝えようとして英語が伝わる楽しさを感じることができました。

ホームステイやアワタブカレッジでの学校訪問では日本とは違う食文化や家の生活習慣、価値観などたくさん知れてとても面白かったし、楽しかったです。学校訪問では、日本ではあり得ないようなモーニングティーや授業の受け方があってとてもびっくりしました。ホームステイでは、ホストファミリーと一緒にいろんなどこに出かけました。特に印象に残っていることは、ショッピングモールに行ったことです。ショッピングモールはとても広くいろんなお店がありました。一緒にゲームセンターでゲームをしたり買い物したりなどとても楽しかったです。

ニュージーランドへ行ってびっくりしたことは、日本や韓国などいろいろな国のご飯屋さんやスーパーなどがあることや横断歩道が少なく歩行者用の信号も少ないことです。日本のお店があって少し安心しました。また、歩行者は車が止まってくれるかいなくなるまで待って渡ることが多く少し怖かったです。車も道路に止める場所がたくさんあるので日本とは大きく違いました。

この研修で学んだことを今後の人生に活かして外国の方々に自信を持って話しかけていきたいです。このような体験ができたことはいい思い出だし、とても楽しかったです。

川北町国際交流の翼 ふりかえり

川北中学校3年 福田 詩歩

ニュージーランドではいろいろな体験をすることができました。ニュージーランドでは外に羊がいるのが当たり前だったり学校までは親に送ってもらうのが当たり前だったり日本と文化が全然違ったのでびっくりしました。

アワタブカレッジではバディと一緒に全て英語の授業を受けました。ネイティブの英語は発音が良く、喋るスピードが速く聞き取ることが難しかったけど楽しかったです。

ニュージーランドでは信号が少なく、ほとんどの人が信号を気にせずに歩いていたのでびっくりしました。ショッピングモールへ行ったときにはホーキーポーキーのアイスを食べたり、お土産を買うことができ嬉しかったです。日本とは物価が全く違ってびっくりしました。最終日のお昼ご飯と夜ご飯では久しぶりに日本食を食べて嬉しかったです。

オークランドではスカイタワーへ行ったり博物館へ行ったりしました。スカイタワーではオークランドの街並みを一望できてよかったです。その日はめちゃくちゃ晴れていたのできれいな景色を見ることができました。博物館では初めてキーウィという鳥を見て思っていたより小さかったので驚きました。

思い出のホームステイ

川北中学校 3 年 村上 穂空

最初は不安でどちらかというと「行きたく無いなー」と思う様な今回のニュージーランド派遣、実際に行ってみると楽しくて「もっといたいなー」と思うほどの思い出になりました。それにホームステイ先での体験は、初めてのことばかりで色々と驚かされる貴重な時間となり一番心に残る出来事になりました。

僕がホームステイ先でまず最初に驚いたことは、家中に入る時に靴を脱いだことです。先生の話などからも靴を履いたままである物だと思っていたら突然靴を脱いでと言われ「え、履いたままじゃなかったの」となりました。でも「まあ、家それぞれかー」と思い腑に落ちなかつたけれど日本と同じで少し安心しました。

次に、夕食の時です。その日の夕食は、フィッシュ&チップスだったのですが、ナイフとフォークが出されて「フランス料理みたいにちゃんと食べなきゃ怒られるのかな」など思いながらうろ覚えでやったのですが、食器の音を立ててしまい「やってしまった」と思ったのですが注意などされずむしろ「手で食べた方が食べやすいよー」と言わきました。僕は、この時、ニュージーランドは互いの文化を尊重し合う優しい国だと言うことを強く思いました。お風呂の時も少し長かったかなと思っても何も言われず、来る前に不安に思っていたことは以外に無くてすごく安心しました。

アワタプカレッジでは、誰もが自分のしたい事を出来ている様に感じ風通しの良さがすごく伝わってきました。

次の日には、ホストファミリーがウェリントンに連れて行ってくれました。美術館に行きキーウィの剥製なども見せてもらいました。ニュージーランドで起きた地震の体験ができる場所もあり、それが日本じゃたまにあるなーくらいの揺れで他の人の様子を見て「日本人はこのくらいの揺れじゃ誰も騒がないしなー」と思いそこでも、日本と世界での違いを感じました。ニュージーランドのダイソーにも連れて行ってもらったのですが、そこでは、ほぼ全てが日本語で、日本円にすると何ドルが何円かなども書いてあったり店員も日本人ばかりだったりして驚きました。

そしてホームステイで一番楽しかったことは、ホストファザーとしたチェスです。毎回、叶真と一緒にチームを組んでやっていたのですが 3 体 1 でやっても何度もやっても歯が立たずチェスの難しさを知りました。

ホームステイで出来た思い出は一生の宝物になりました。

はじめてのニュージーランド

川北中学校2年 風無 秋輝

僕はニュージーランドに行ってさまざまことを学びました。

1つ目は、環境です。それは、ニュージーランドは南半球の島国で、僕たちが行った日の日本の季節は夏なのでニュージーランドの季節は冬だったので、寒暖差が激しかったです。そして、風も冷たく、紫外線も強く、花粉もすごかったです。

2つ目は物価です。ニュージーランドの物価は日本に比べると少し高いなーと感じました。例えば、ポッキーの値段は、日本は200円ほどで買えますが、一方ニュージーランドは約800円ほどかかり、ものすごく高いです。

3つ目は、ホームステイです。ホームステイでは、母親、父親ともに韓国人で、日本語がちょっと喋れて、英語も喋れる方で、ご飯がとても美味しいくて、部屋もすごく綺麗でした。途中ご飯で辛いものが出てきたけど、なんとか食べました。辛すぎて涙が出ました。そしてニュージーランドの市場に行ってアヒルを見ました。かわいいかったです。また、ニュージーランドの歴史博物館に行って、マオリなどを見たりしました。最後にビーチに行きました。風が強くて波が大きかったです。そしてキャンピングカーでプルダックボックンミョンを食べました。辛かったです。だけど、素晴らしいところに行けてよかったです。

4つ目は、パーマストンノース市長訪問です。実際に市長はいませんでしたが、その場の雰囲気を感じることができました。実際に議員たちの席に座ったり、

マイクを触ったりして、いい経験をさせていただきました。

5つ目は、アワタプカレッジです。アワタプカレッジでは、バディの子と一緒に授業をしたり、一緒に遊んだり、昼食を食べたりしました。アワタプカレッジの授業は、日本とあまり変わらなくて、とても楽しかったです。そして、何より、バディの子と仲良くなれたのでよかったです。

6つ目は、IPU国際大学では、様々なところを見させてもらって、トレーニングルームや大学院などがありました。とても広く、ご飯が美味しいし、図書室もあり、とても良い環境でした。

7つ目は、オークランドのシティアクティビティーです。シティアクティビティーでは、スカイタワーに行って、標高328mからオークランドの街並みを見ました。高いところは少し苦手だけど、楽しかったです。博物館では、ニュージーランドの昔の生き物や第二次世界大戦の事などを詳しく学びました。

ニュージーランドに行って気づいたこと

川北中学校2年 西田 瑞

私は国際交流の翼でニュージーランドを訪問し二つのことに気付かされました。

一つ目は勇気をもってチャレンジをすることの大切さです。初めはホームステイ先で一人で過ごすことにとても不安を覚えていましたが、ホストファミリーが暖かく迎えてくれてとても安心しました。そのあとからは勇気を持って自分から話しかけてたくさんの会話をホストファミリーとすることができます。一緒にゲームをしたり夜にホタルを見に行ったりとても楽しい時間を過ごすことができました。もし私が二人で行っていたら日本語に甘えていたと思います。なので、今となっては一人でホームステイをすることができて、たくさんの挑戦ができたし、英語にたくさん触れることができたのでとてもよかったです。また文法がぐちゃぐちゃになってもなんとか伝えようとすれば相手は自分の気持ちに気づいてくれて、わからなくともダンマリではなく伝えようとする気持ちが大切なんだとわかりました。

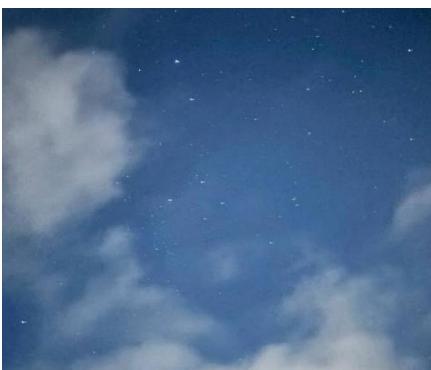
二つ目は英語で会話するときの楽しさです。ホストファミリーやアワタプガレッジのバディなどたくさん英語で話しましたが、自分の英語が相手に伝わったり、相手の英語が聞き取れると本当に嬉しかったし、楽しかったです。私の目的の一つの英語での会話を最大限に楽しむということは達成できたと思います。もっと英語で会話ができるようこれまで以上に英語の勉強に励みたいし、もっと他の国の文化を学びたいです。

今回ニュージーランドに行ってたくさんの文化を知ることができたし英語力以外にも大きく成長することができました。本当に訪問することができてよかったです。

思い出の写真



思い出の写真



団員からのメッセージ

【心構え・気持ちの準備】

- ▶ 迷っているなら行った方が楽しいよ、とても充実した有意義な旅になるよ。
- ▶ ホームステイ緊張するけど、楽しめばなんとかなる。
- ▶ 緊張することもあると思うけど、すごく楽しい事や自分のためになることばかりなので、頑張って！
- ▶ たくさんの不安があると思うけど頑張ってほしい！

【英語・コミュニケーションのコツ】

- ▶ 英語力に自信がなくても大丈夫！自分なりに伝えてみるということが大事だと思います。翻訳アプリなどはあまり使わずにチャレンジしてみてほしいです！
- ▶ 英語に自信がなくても何かしら喋ることで伝わることもあるので、積極的にしゃべっていい経験をしてきてください。私は、ニュージーランドで交流したことによって自信がついたので、みなさんも頑張ってください！
- ▶ わからなくてもジェスチャーなどを使って自分の意思を伝えることが大切。
- ▶ 現地の人は話すのがとても早いので聞き取るのが大変でした。最初は「ゆっくりお願ひします」と伝えるだけでもかなり聞きやすくなります。
- ▶ 自分の英語が伝わっているのかわからない時は、言い換えや、相手に復唱してもらうと安心です。
- ▶ 文化の違いを理解しづらい時があるので、「まずは聞いてみる・尋ねてみる」姿勢を大切にしてください。

【生活面の準備（寒さ・食事）】

- ▶ 思っていた以上に家の中が寒く防寒対策できなかったです。薄手でも重ね着できる防寒具（フリース、ヒート系インナー、厚手ソックスなど）を持っていくと安心。
- ▶ 食事について、ホストファミリーが韓国人で辛い食べ物が出てきたので困った。辛い食べ物が苦手な人は、事前に「辛いのは苦手」とやさしく伝えておくと配慮してもらえます。

【荷物・持ち物の工夫】

- ▶ 要らないものを持って行き過ぎて最後に荷物が多くなった。
- ▶ スーツケースには余白を残しておいてください。お土産分のスペースが確保できます。

派遣日程

(ニュージーランド時差=+3時間)

月日	時刻	項目	備考
8月6日 (水)	9:00 9:10 9:20 10:00 11:00 12:15 14:25 15:45 20:00	役場集合 結団式 役場発 小松空港着・搭乗手続き 小松空港発 羽田空港着 羽田空港発 成田空港着 チェックイン・出国審査 成田空港発	役場バスにて小松空港へ JAL 186便にて羽田空港へ 昼食:軽食持参 リムジンバスにて成田空港へ NZ 090にてAuckland Airportへ <10時間35分> 夕食:機内食
8月7日 (木)	9:25 12:05 13:20 13:45 14:00 15:30	オークランド空港着 オークランド空港発 パーマストンノース空港着 空港発 昼食 ホームステイ先へ	朝食:機内食 NZ 5121にてPalmerston North Airportへ <1時間15分> IPU New ZealandのバスにてIPUへ
8月8日 (金)		Awatapu Collegeにて交流 【ホームステイ泊】	
8月9日 (土)		ホームステイプログラム 【ホームステイ泊】	
8月10日 (日)	15:30	ホームステイプログラム IPUにてホストファミリーとのお別れ会 アフタヌーンティー IPU大学生との交流 【IPU学生寮泊】	
8月11日 (月)	午前 午後	IPU New Zealand パーマストンノース市長訪問 妻倉さんの講話、キャンパスツアー、市内ツアー 【IPU学生寮泊】	
8月12日 (火)	7:30 7:50 8:00 8:45 10:00	IPU New Zealand 発 パーマストンノース空港着 チェックイン パーマストンノース空港発 オークランド空港着 専用車にてオークランド視察 【The Chancellor on Hobson – Auckland City泊】	IPUバスにてPalmerston North Airportへ NZ 5104にてAuckland Airportへ <1時間15分> スカイタワー、オークランド博物館等
8月13日 (水)	7:00 8:05 10:15 18:15 19:35 20:40	ホテル発 オークランド空港着 チェックイン・出国審査 オークランド空港発 成田空港着 成田空港発 羽田空港着 【羽田エクセルホテル東急泊】	専用車にてAuckland Airportへ NZ 099にて成田空港へ <11時間00分> 機内食:2回 リムジンバスにて羽田空港へ
8月14日 (木)	7:55 8:55 9:40 10:05 10:35 10:40	搭乗手続き 羽田空港発 小松空港着 小松空港発 役場到着、解団式 解散	ANA 751にて小松空港へ 役場バスにて川北町役場へ

派遣団員名簿

管理指導員

NO.	氏名	性別	区分	所属
1	こやち ゆみ 小谷内 由美	女	団長	川北町教育委員会 課参事
2	たか さつき 高 鳩希	男	管理員	川北中学校 教諭
3	ながおか たかよし 長岡 昂吉	男	管理員	川北町教育委員会 主事

派遣生徒

NO.	氏名	性別	区分	役割分担
1	おがわ とうま 小川 叶真	男	3年	あいさつ / 交流係
2	くろだ かのは 黒田 華羽	女	3年	あいさつ / 交流係
3	しみず しづ 清水 穏	女	3年	交流係
4	たかぎ まさむね 高木 政宗	男	3年	サブリーダー / あいさつ
5	たに りゅうき 谷 瑞己	男	3年	リーダー / あいさつ
6	ひらやま 平山 ゆず	女	3年	サブリーダー
7	ふくだ しほ 福田 詩歩	女	3年	交流係
8	むらかみ ほだか 村上 穂空	男	3年	あいさつ / 交流係
9	かぜなし しゅうき 風無 秋輝	男	2年	交流係
10	にした あおい 西田 葵	女	2年	あいさつ / 交流係

